

2023年3月吉日

ご利用者様・ご家族様

社会福祉法人 石龍会  
医療法人社団 和泉会  
理事長 佐原 博之

### さはらグループにおける感染対策（感染症の予防及びまん延防止）について

日頃から、当グループの感染対策に対するご理解、ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。さはらグループの各事業所では、厚生労働省指導の下、石川県からの通知を基本に感染対策を実施させていただいています。2022年度の満足度調査におきまして、皆様から複数のご質問やご指摘を受けましたので、改めて当グループの感染対策についてご説明させていただきます。

#### 【基本方針】

「Standard Precaution（スタンダードプリコーション）」

当グループでは、「すべての体液・排泄物は感染の可能性のあるものとして扱う」という考えを基本に、すべての業務に携わっています。

また、コロナ流行にともない「自分を含めてすべての人が感染している可能性があるという前提で業務にあたる」という考えも周知し感染対策の徹底を促しています。

～職員共通認識：スタンダードプリコーション～

「すべての体液・排泄物は感染の可能性のあるものとして扱う。自分を含めてすべての人が感染している可能性があるという前提で業務にあたる。」

#### 【体制】

<委員会>

さはらグループ全体で、毎月1回の感染対策委員会を開催しています。嘱託医、各事業所長、看護師、栄養士、介護スタッフ等各種専門職が参加する会議において、周辺地域の感染状況、各事業所利用者様・入居者様の状況、職員・職員家族の状況、感染症の医学的情報、予防策、看護・介護方法の確認等の情報を周知・共有しています。

#### < 教育 >

全職員に対して毎年「感染防止テスト」( 嘱託医監修/作成の感染防止対策資料による学習と感染防止テスト ) の実施により、知識の更新や再確認を行っています。また、Eラーニングにおける感染症、感染症防止の教育、嘱託委医や協力医療機関からの適時指導を受けています。

#### 『高齢者施設等感染症対応力強化研修受講』

2022年10月28日に「高齢者施設等感染症対応力強化研修」を受講いたしました。

本研修は、石川県が主催する感染管理認定看護師等による「専門家」を派遣しての高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策の助言、指導を目的とした研修です。

本研修において「全職員が共通認識を持ち、感染症予防対策を徹底できるように情報発信や環境整備を行っている」と評価されました。

#### < 職員健康管理体制 >

コロナ禍以前より、「体調管理及び不調時の早期報告の徹底」を基本方針として実施してまいりました。コロナウイルスの流行にともない、上記基本内容以外に、毎日2回の検温(出勤時、休憩時)、2022年1月～9月期は月2回のPCR検査、2022年10月からは週2回、2022年12月からは週3回の抗原定性検査を実施し、職員の感染に対する早期発見に努めています。

また、密になる環境及び飛沫感染が懸念される食事環境について、職員更衣室内ルールの改定(少人数更衣、無言更衣の徹底)、食事については人数制限、アクリル板設定、事業所により食事場所の変更を行い対応しています。

#### 【感染対策について】

< 入所系施設：ピハラの里およびのとじま悠々ホーム >

< 面会について >

のとじま悠々ホームでは2020年の春より居室への入室制限を実施・継続しています。ピハラの里でも地域の感染流行状況で短期間の解除はあったものの、ほぼすべての期間居室への入室を制限させていただいております。ご家族様へはご不便、ご不安をおかけし申し訳なく思っております。

両施設とも「面会禁止」ではありません。

施設内でコロナ陽性者が発生した場合は面会を禁止とさせていただきますが、そうでない場合、「面会エリア(アクリル板設置、施設が設定した場所)」での面会が可能です。

また、ZOOM 等を利用した WEB 面会も実施可能ですので、ご利用されたい方は担当にご相談ください。

国からの指導では、現時点（2023.2月現在）において、「ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること。マスクを着用すること等自主的な感染予防行動の徹底をお願いする」となっております。

#### < 外出、外泊 >

不要不急外出、外泊はご遠慮お願いしております。通院や通所、訪問サービス利用においては感染防止対策を十分にとった上での対応とさせていただきます。

のとじま悠々ホームやビハーラの里は、感染リスクの高い方が多く入居されております。また、隔離生活を実施することが困難な方も多くおられます。

当グループの対応について、ご理解、ご協力をお願いいたします。

#### < ターミナルケアについて >

のとじま悠々ホームにおける「ターミナルケア」は、コロナ禍でも出来得る限りご家族が面会できるように配慮させていただいております。

本件についての詳細は、のとじま悠々ホーム生活相談員やケアマネジャーにお問合せください。

#### < お食事について >

##### ・ ビハーラの里

現在ビハーラの里では、感染防止体制下の食事体制となっております。以前は、50名の入居者様全員が食堂へ集まり、1時間ぐらいの食事時間の中でお食事されておりました。

現在は密防止、飛沫対策のため「2部制」となっております。

「4人掛けテーブルに2名掛け」「アクリル板設置」「両隣、正面には着席者はいない」という体制でお食事していただき、原則「黙食・マスク食」となっております。

折角のお食事時間をこのような体制で取らなければならないこと、非常に申し訳なく思っております。

##### ・ のとじまデイサービスセンター

ビハーラの里同様、のとじまデイサービスセンターにおける食事体制も変わりました。アクリル板設置、着席位置の変更（密環境防止）、黙食・マスク食のお願いしております。

<陽性者、濃厚接触者の対応について>

ビハラの里及びのとじま悠々ホームにおいて陽性になられた場合、医療機関や保健所の指示により対応します。濃厚接触者になられた場合は、石川県からの通知(石川県のコロナ感染に対するホームページ記載内容:以下「県からの通知」)に準じた対応となります。

施設内療養を指示された場合は、ご本人様居室での隔離対応となります。入院指示の場合は、医療機関による対応となります。

のとじまデイサービスセンターご利用の方が陽性または濃厚接触者となった場合は、県からの通知を基本とした対応とさせていただきます。保健所や医療機関等から事業所に対して指示があった場合はこれに従います。また、周辺の感染状況を踏まえた判断をする場合もあります。

<その他>

・ビハラの里

入居者様の健康管理の一環として、2020年度にビハラの里事務所横に非接触型体温測定器(自動認識)を設置しました。適時職員が体温測定結果をチェックしております。

・のとじま悠々ホーム

来所持のスリッパについて、自動殺菌装置を導入し常に殺菌されたスリッパをご利用いただけるよう機器導入を行っています。

以上

「利用者様・ご家族様満足調査」においてご意見、質問にあった件を説明する目的を主とし、当グループ全体の感染防止に対する考え、実施内容を説明させていただきました。

今後、マスク着用方法や感染症の分類が変更になり、新型コロナウイルスに対する考え方が変わっていくと思われます。

当グループでは当分の間、現在の感染防止対策を継続していきます。3月後半やゴールデンウィーク明けの感染状況をふまえ、国の方針や石川県からの指導、保健所や協力医療機関、嘱託医と相談、連携をしながら対策を行って参ります。